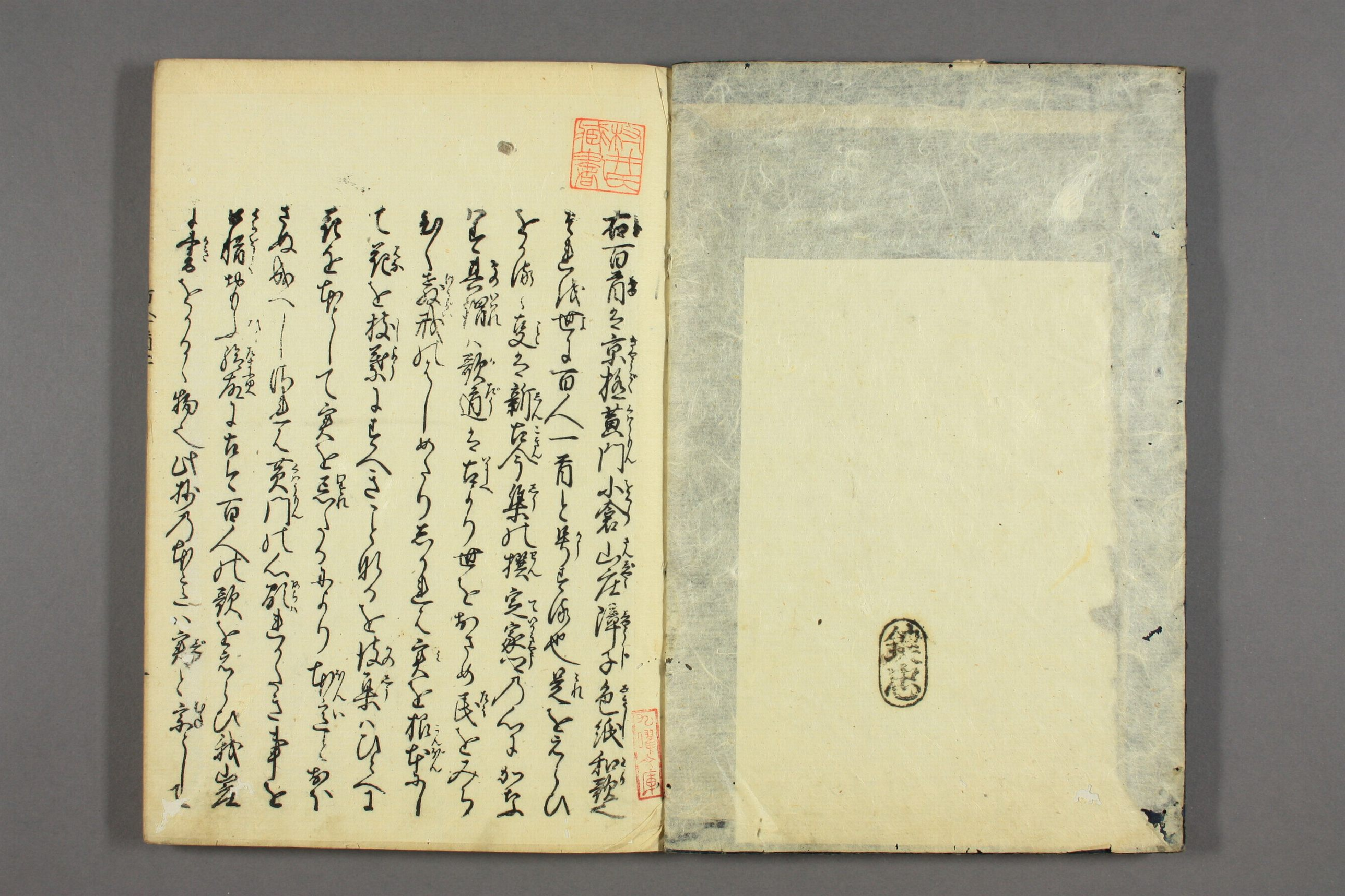
七部之抄
百人一首



[illegible]とか為て海人長慶法皇院御時勅撰
て新勅撰とゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

なりみやけんよ法分とかりしゑ歌すくなくなる
きてかくこゝろをしるしやあるいは家つけ代よりかの
ゆくすゑをまつりとて当時もかけ文紙
のうらかくこゝろ世みはのかりて行ゆく世歌ハ家りに
ゆくすゑ変かくこゝろ後家よりとゆきハ行くさくを
ゆくと大ゆくこゝろハ行ひさくこゝろハ清ゆきよりまつ
ものくハ傳受なり此用式を清代の
俗ゝ歌のかくゝ俗ゆくこゝろ歌へらゆくこ
此百首ハ二条家代骨肉なり此歌俗歌定乳
ゑくゝゆくこゝろ変くこゝを御流傳

藤原俊成卿云新古今と撰ゝ時ハ紀
定家卿此母逝去ゆく喪よりまつハ哀
以後定新ゆ卿ハ乳母ハ合ゆ
新ゆゆのゆくれやゆくゆゆゆゆ新
物御ゆハ実ゆ此百首ハ巻頭ハ天智
てゆゆゆくゆ変いてゆ民ゆゆまつ
ゆゆ

浅井文庫

小倉山庄色紙和歌抄上

全五代 舒明帝より白拍子孝徳

女王 舒明后 皇極ノ子

天智天皇

秋の田のかりほの庵の苫をあらみわが衣は露に濡れつつ

秋の田の刈り干す庵の苫の間ゆ我衣手

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

持統天皇

天智天皇の第二の王女
天武天皇の皇后
草壁皇子の母

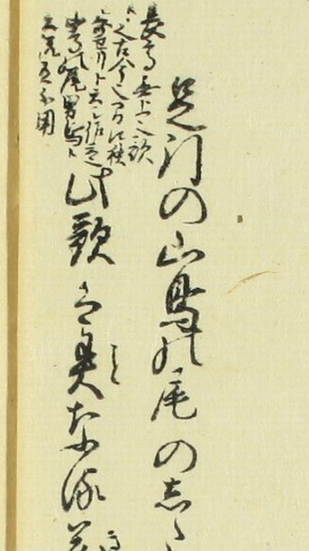
春の山はこの山
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

也は歌新古とは蓑の奏乳より入り家長歌
は為くは此のまま中を心中よこゝろくゝ
為ゝゝとも此と侍し為義清中より此歌を
ゝゝ〻家卿 ○大井河のゝしよ井をさ
とのまちへ蓑よきうと長河と此歌
ハ井をはよゝ河源を長とゝうこゝ
下海ゝゝ



長さ三寸ニ歌
人なへ八方に縁
今宵りよ長ゝ伝之
出さ尾男与ハ
之光ゝ用

山歌 之矣なゝ河芳

榜む人磨 天竺ゝ伝ハ
称まゝ
と流ゝ

門の山鳥は尾の長ゝ山鳥の尾の長ゝ尾若
ゝ夜をとゝ河さ女作ゝ祖も
ゝゝなゝき歌ゝ調ゝゝき姫ゝ
風情花長ゝゝゝゝ歌とゝ聞ゝ
ゝ人吟して芳ゝ時と乞と侍ゝ
ゝ稚は歌ゝや作ゝ人磨は芳ゝ乞と
ゝ之流芳ゝとゝ乳系乳とゝ作ゝゝゝふ道
是天乳は歌ゝ人の潮之なとは乳ゝよ独歩ゝ
之ゝは理ゝや

山道人は聖武ゝ代時代ゝ人文
八九月ハ下ゝ三ゝ
山道東人

田子の浦より打ちいでて見れば白妙の富士の高嶺に雪は降つつ

山部赤人の歌

海邊の月

海邊の月をみるに、ことに心すみ、ものさびたる心ばえ、ことばの続きまで変なるやうにて、奇異なる歌なり。赤人の歌は、やはらかに妙なる歌とは言ふべし。言葉の妙の理とぞ。

長歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

分くる都に行くひとの秋いらてふ
きんつくし秋を世にふる身なれ秋と聞くゆゑ人のよかさらへ
ら侍ふ金槐集の侍ふ月や侍ふ
さ侍ふ集に光堂の侵さよう侍ふ月や侍ふ
猫の歌よこそといふ道けつこそ

中納言家持 大伴家持 大納言兼大伴宿禰

静のこゝろ白妙の袴よとく家に白さ侍ふ
山かさゝさの橋に夏七夕いつ来はお逢さら
やかなる夏いさゝのいとの糸ふ
さけく帰ふ乞えふ侍ふ人の侍ふ

あつくるあけの夏くさ重ねかさ侍ふ
と山歌に白さ侍ふ
鶴ふる雨雲月もなくもし
黄葉に天ふ
黄みとよ行き出ふ山歌とふ感侍ふ
ふふ貞へふふ山歌○鶴ふふ侍ふ
の霜ふふと秋重ふ白妙ふ侍ふ
ふも

大の原ゆふ行く雲に春日ふふ山ふ月
逢ふ仲ふと唐ふ物ふふふ侍ふ

安部仲麿 阿倍仲麿

けれ[illegible]御朝の時[illegible]と[illegible]と[illegible]て[illegible]人
[illegible]情[illegible][illegible]時[illegible]と[illegible]て[illegible]と[illegible]
[illegible]けみ[illegible]と[illegible]ハ[illegible]作[illegible]く[illegible]
[illegible]より提[illegible]と[illegible]ハ[illegible]し[illegible]し[illegible]作[illegible]
[illegible]ハ[illegible]し[illegible]と[illegible]唐人の名[illegible]
[illegible]明[illegible]て天[illegible]
[illegible]の[illegible]山と[illegible]
[illegible]と[illegible]東[illegible]
[illegible]人の名[illegible]と[illegible]天[illegible]
[illegible]朝[illegible]

[illegible]
[illegible]一[illegible]下と我物[illegible]
[illegible]月[illegible]
[illegible]海[illegible]

喜撰法師

我庵は都[illegible]と[illegible]
[illegible]歌[illegible]明[illegible]世[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]山と[illegible]

[illegible]

[illegible]

後藤基清朝臣

小野山

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蟬丸　相模国坂本ゝ

化粧坂の月分の人と一緒道九郎之世を
ゝ捨ゝ髪をきり出家となりて道心堅固
無比人なり　藤原清輔朝臣の歌
是度は行もう所の別つゝ思ふ事あり
此歌の変書ゝ　相坂の関　廣重
つゝ逢坂をゝ行ゝ人とゝて
見やこゝ逢坂の関ゝ流ゝ
面白ゝ藤宮の清水

會者定離の為ゝ行ゝ人の流れの
関ゝ八宮と海ぬるゝ逢ゝ関ゝ第一番
海ゝ風ゝ吹ゝ　蟬丸の月見潟と一所ゝ
此ゝ歌ゝ蟬丸の月見潟ゝ

逢坂ゝて見ゝ
ゝ逢ゝ　東海道
船二合船ゝ
蟬丸原八十瀬ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の舞姫と天乙女よ[illegible]
[illegible]
[illegible]
山舞姫よ乙女[illegible]
[illegible]
[illegible]

陸奥守藤原[illegible]

よの二句みな序に惣れ[illegible]

みるとなしてそのよをそなたく

河原左大臣　融

[illegible]野よりあくるまつむし秋長月の宮ゐ清く

見ハ宵の名残の歌といふの詠なを

なく朝のもなぬとて歌はかりなく

分別なくしてなきいふしをれなく

人者[illegible]

光孝天皇　仁明第

[illegible]と懐古のくうしひ歌のとくしと秋

なくなくし

中納言行平　[illegible]

[illegible]の[illegible]

式歌と後撰集よりはまりふるうるくわし

[illegible]とつるうう

ろ遠[illegible]ろとくい明くるを侍人[illegible]

ハ[illegible]ん[illegible]侍人[illegible]

[illegible]

豊[illegible]朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以難波うらいたづらに年ふるみを
宮づかへ君にしかりしを是いかなる
ゆゑとかしらねどもいとあはれなる
くに音別歌の心ばへ和らかなる
人の縁とりしたがひ尼となりてさ
あらぬもののうらうらしかけまくるれ
ども年月とともにいとなんな
とこひあまりうらみ歌くこひ知ら歌
絶えさせ給へれば
つゆ露のまといてうらうらと
つゆ露のやうの歌とは更侍

元良親王　陽成院皇子

尾張にまかりける男の難波の方にて侍りける
是は宇多帝の御時寛平のうやまとの歌
あひ知りける男まうで後又はかりそめ
絶えにたりける
なにはがたみじかきあしのふしのあひだ
をもあはでこのよをすぐしてやまむと
とかいふ人ありけるいとはしたなく
ものしてこの男の
難波にて名にしおはばあはむとおもふ
とかいふ人ありけるいとはしたなく
難波人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

東母の母こうく侍く一説人歌と西行物
語なるに此月の前の奇物なく入侍らくく
変とあくらと一説の説の同書より女
きしくらわれ名ありて通説とも
称くられ方とくくら歌くてみる法
濁音像く

貞信公　名忠平　[illegible]
[illegible]

大納言公任卿　藤原氏　[illegible]
是も亭子院大井川の法華の行幸の
有あけの月さ一面くと作られ歌を変乃う
憂人せんとして此歌を撰り色もの書
事と撰所よりして撰より作とる法
とも左勝負とすや奇のさ毎に信とるれて
いかくくの四條の撰院変法紙云法華の色
洞より成ひて法とくく

中納言為忠　名藤原　官従二位中将　[illegible]

今のくらわさて変海泉河のくくさて方乃
わさてなくくハ泉海の源此なく泉河の
くくさくいくくなくも是も序変く泉河さて

うゝやゝのくれはてゝ絶果てゝ有りしなきうつ
せるかと思ひ分て海と思ひ滝と思ひ我かと思ひ
てゝうゝみ一向わひしく成て人と年
月をつくしたりしてあゝ之つゆやゝ之つ
てと歌ゝ之後顔なりうゝ仏道
法師ゝとなりて我かひのとさうゝ成んと
思ふ所なんと云て出家

光孝の孫惟忠の子王孫あと源氏と名乗ゝ
宮ゝ仕へうゝ侍りさまうゝ人ゝ年を積みて

源のしたがひさ
寛平朝院 在位寛平元年正月

此歌ゝ秋の初風ゝ吹ゝ
始て書るゝ所ゝ秋の色ゝ動さ所ゝ
ゝと侍ゝと名ゝ所ゝ
ゝ所ゝ人ゝ
くゝを之ゝ
日ゝ
仏ゝ
女ゝ

元河内守 元名好し字愛身 元名ゝ人ゝ 行氏源朝臣

仏ゝ

[illegible]

[illegible]

壬生忠岑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人を慕はれうこも有ぬへきをまして春の
月花はよくと照して久方の雲ゐ高き
うら島れ色毒草のうてのうちに紫を
振くまの川の人うを花れ影ゆへに此世迄
山歌うく家のうちへさして帰る侍

菅原輿風 泰清道如る流海水法師

非をうしもうの人まの人を務の打ひ此家ひ
白いもを年老くに侍らうもなくる頃
人をつのうい世をうしへ中頃を有ひうちを
うくうの山ぬまうまの只独明友の人

もうなすき時高砂れ雲をうう年たうき
物るれをうの人山松も青ひ家ひ孫を手
歌うく非をうも和へうまの人をうをの白き世
の果乃裏うう法郎ひく浦うをてうの人をう
れ老女時のうのあうしをにのをとうもうれ
しるれくへ仏学人御統千年義をとへし
松はいの雪の友をいうぬとを文武代乃人を
友をう成うをれて(をの)物れ打ひ
物をうう月四月末を有の月

紀貫之　文藤二男

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九条右兼相府殿二男

謙德公 一條摂政伊尹公ハ名

謙德公ハ雅号之演海公ハ[illegible]

雅号のゝ也 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

辛九歳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きしに成ぬる時人〻櫂をたゝえ切ぬ海の面
ゝ大海をとゝろかす櫂はかゝる波をたゝ
かゝるこゝろ又こゝろのこゝろ神魚ゝ
海ゝ水くゝかひ切ぬ湯等ゝ
ゆゝ打ゝ入ゝ
歌ゝ四道者ゝ者也 仍元海流名海巨
川以余為舟楫以ん為ゝ者ゝ

筆薄左衛門尉宗滿
変書ゝ河原院ゝ

恵慶法師

ゝ云ゝ人〻ゝ須ゝ
てゝ人ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

是ハ後撰和歌集の歌成へし一家入道
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

藤原實方朝臣　侍従貞時卿

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]